

令和元年度第6回座間市在宅医療推進協議会（子会議）

日 時：令和元年9月10日（火）18時30分～20時00分

場 所：サニープレイス 3階研修室

1. 在宅医療・介護連携支援室より活動報告

8月6日～9月10日の実施内容について

[ア] …アンケート調査の対象にない施設系（グループホームと有料老人ホーム等の高齢者入所施設）23か所の情報について調査、取りまとめ中。

[イ] …居宅介護サービス提供事業所の情報提供について、情報内容をどう充実させるかということを検討中。ケアマネ3名がワーキンググループに参加し、9月5日に開催したワーキングで内容がほぼ決定。来年2月の一斉調査は新しい調査票で実施予定。マップも検討していて2月の調査までの期間、居宅介護事業所に試行的に使ってもらう予定。試行先について検討中。

[ウ] …連絡会設立支援を継続中。

[エ] …[ア]と同様。ICTについては9月26日に今後の進め方について業者と打合せ予定。

[オ] …2件の相談あり。今年度累計11件。

[カ] …8月23日第1回研修会開催し、32名の参加あり。9月20日第2回研修会予定で、現在申込40名。11月18日第3回研修会は27名と未だ空きがあるので再募集の予定。

[キ] …パンフレット配布を継続中。在庫が少ないため業者と調整中。

[ク] …9月下旬頃、厚木保健所管内のケア会議について調査予定。5月に開催した近隣4市（大和市、海老名市、綾瀬市、座間市）の相談員の情報交換会を11月11日にも開催予定。

2. 座間市在宅医療検討委員会（医師会）より

① 座間市医療・介護連携定期研修会チーム

8月23日に開催した第1回研修会は、実際に介護される方が遭遇するであろう熱発の症状を医師会で想定し、現場で起きた様々な状況を基にグループワークディスカッションを通して知識や経験が増えることを趣旨とした。反省や修正点を踏まえ内容を少しずつ良くしていきたい。参加者の方が希望するテーマがあったら教えていただきたい。いちばんの目的は顔が見える場づくりにあるが、参加者は固定する傾向があるので、いろいろな方に参加をしていただきたい。

② 介護事業者連絡会設立支援チーム

・8月に訪問看護の連絡会に参加。反対意見はなかったが「方向性が分からない。」と意見があり。連絡会から訪問看護のリハビリ部会が立ち上がったが集まれていない。訪問看護の連絡会と一緒に活動することの提案があった。パーキングについて賛同の声があった。9月の訪問リハビリ連絡会で今回の話を踏まえて佐久川氏と相談していく。

- ・「ふれんどりい」はどこの連絡会に参加するのがよいか？
→在宅サービスだが泊りもやっているので施設とも違う。どちらかといえば通所介護に近い。小規模多機能だけで集まると偏りがあるので他に所属したほうが良いのでは。
- ・病院から介護サービスを提供するときは顔見知りからの紹介が多いのか？
→知らない施設を調べて連絡し顔見知りになって徐々に頼みやすくなることはある。支援室が作成している事業所一覧のような情報があれば退院支援ができるので連絡会がなくても必ずしも困らない。
- ・連絡会はどういう目的で集まるのか？それによって事業所ごとか職種ごとか、どちらが効果的か判断できるのでは？
→利用の方法はいくつもあると思うので敢えて定義を決めなくてもよいのでは。ケアマネを頼みたい時や患者さんとケアマネの関係性が不調な時等、相談窓口がほしい。
- ・他の事業所がどうしているのか情報を共有したい。今回の連絡会設立で情報共有し、次の段階で他業種との連携や顔の見える関係を作りたい。
- ・ケアマネ協会は事業所単位ではなく個人として参加する職能団体で様々な事業所に所属するケアマネがいて、作ろうとしている連絡会とは少し違う。業種ごとであれば研修会等の声をかけやすいメリットはあるが、どういう形態が適切かは難しい問題。
- ・各事業所同士で困っていることを助け合うという形になるのでは。縦と横のつながりを強化して地域連携を作りたい。
- ・介護事業所としてベストなサービス提供や悩みを共有し患者さん中心で考えると良い。
- ・窓口が存在すると良い。市として事業所をどのように管理したり連携したりしていこうと考えているのか今後聞きたい。

3. パーキング検討チームより活動報告

- ・ワーキングチーム、市、ライフポートと協議の上アンケートのたたき台を作成。全業種に通用する文言を追加記載する。発信元は「ワーキングチーム」としたい。
- ・ライフポートと顔合わせしたい。仮称「ざまりんほっとパーキング」としているが、「ざまりん」の名称使用について市の許可は必要か。送付にはざまりん介護メールは使えないのか。集計の手間を考えるとインターネットの無料アンケートサイトを活用してはどうか。
→ざまりん名称やざまりん介護メール使用可否、発信元について市で協議のうえ回答する。
- ・FAX 用紙の連絡先について支援室の形式に代える。アンケート内容は同じ事業所が訪問看護も訪問介護もやっていることがあるので細かく質問したほうが良い。支援室は内容についての回答はできないが受付窓口はできる。
- ・アンケートの前文にある「許可証」「ざまりんステッカー」等について、決定されたことと解釈されないよう、「たとえば」などの文言をつけたほうがよい。

以上